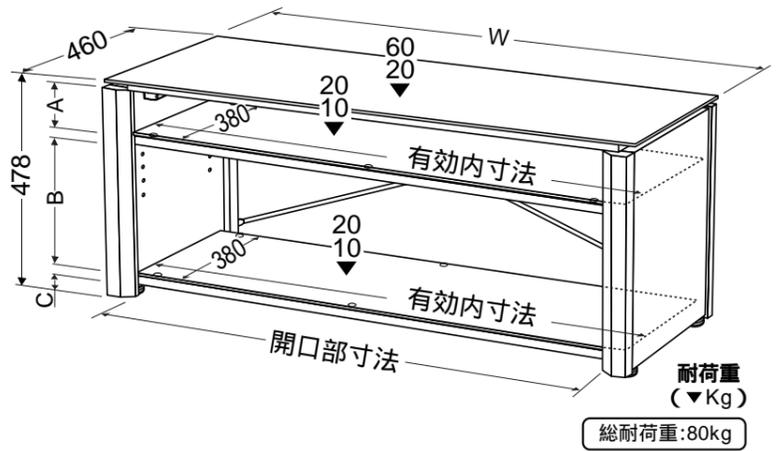


TVスタンド 取扱い及び組立説明書

PDR-WG42・32・26・22

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と下記内容をご覧いただき、
正しく組み立て・ご使用されますようお願い致します。



組み立て前にお読み下さい

軍手などで保護してから組み立てて下さい。
組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定して下さい。締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
組み立て時は床などを傷付けないよう、十分にご注意下さい。
定期的にボルトやキャスターの締め直しを行って下さい。緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があり、非常に危険です。

可変棚の取り付けの高さにより、有効高さ寸法が異なります

A	85	115	145	175	205
B	275	245	215	185	155

	W	開口部寸法	有効内寸法
PDR-WG42	1200	1080	1118
PDR-WG32	1000	880	918
PDR-WG26	800	680	718
PDR-WG22	600	480	518

マーク一覧

- 注** このマークのある組み立ては、特に気を付けて行って下さい。
- 付属工具
- ドライバー
- 2人以上で作業を行って下さい。
- 組み立てに左右共通のパーツを使用します。
- 左右有リ

総耐荷重
製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにして下さい
平均分布耐荷重(図面中の上の数値)
天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にして下さい
中心付近耐荷重(図面の下の数値)
載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

商品に関するお問い合わせは **エレコム総合インフォメーションセンター TEL.03-5337-3024** 受付時間 9:00-12:00 13:00-18:00 **年中無休** エレコムFAXテクニカルサポート 受付時間 9:00-12:00 13:00-17:00 月曜日-金曜日(祝・祭日を除く) FAX.03-5500-2881

部品一覧

組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認下さい。

左パネル 1枚

傷防止パットは組み立て完成後に外して下さい

右パネル 1枚

ガラス天板 1枚

裏面がガラガラした仕上げになっています

ガラス棚板 2枚

裏面がガラガラした仕上げになっています

上フレーム 1本

穴の開いている側が上面です

下段棚フレーム 1本

穴の開いている側が上面です

可変棚フレーム 1本

穴の開いている側が上面です

クロスバー 1本

受けゴム 21個
(内3個は予備です)

ボルト(M6×15)

A 16本

棚ボルト

B 4本

六角レンチ

付属工具 1本

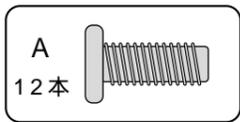
組立説明

本製品はロックダウン式家具です。必ず組み立て手順、組み立て上の注意事項等の指示に従って組み立てを行って下さい。
床やラック本体を傷付けないよう、段ボールや防傷シートを敷くなどして組み立てて下さい。

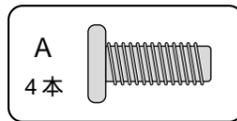
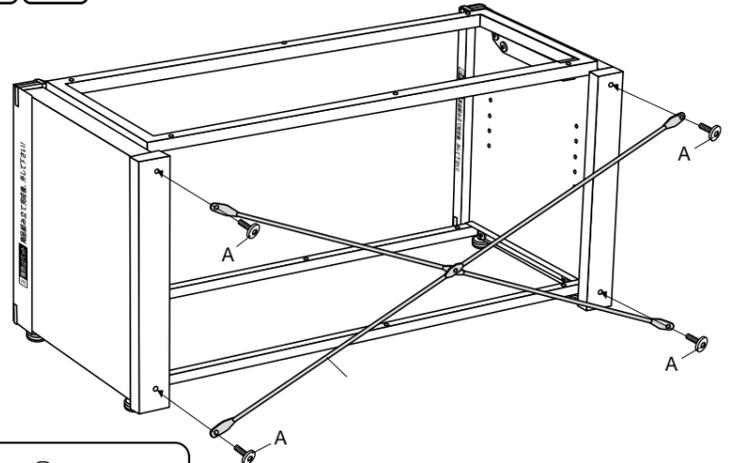
ご用意いただくもの



- 1** 右パネル、左パネル を図のように床に置き、上フレーム・下棚フレーム を上下を確認してボルト A でゆるめに取り付けます。
ゆるく締めておいたボルトを全て締め付けます。

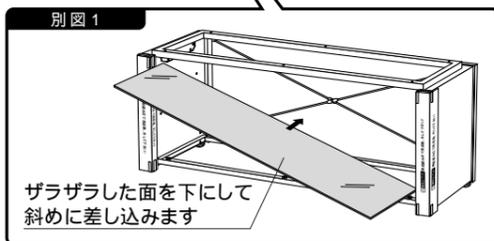
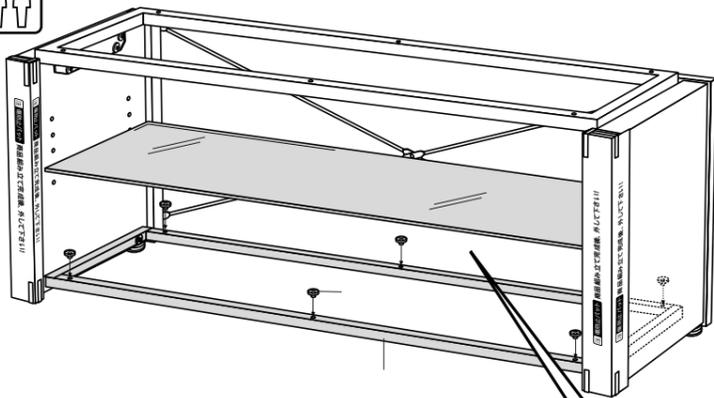


- 2** 本体を図のようにおこします。
クロスバー をボルト A で取り付けます。



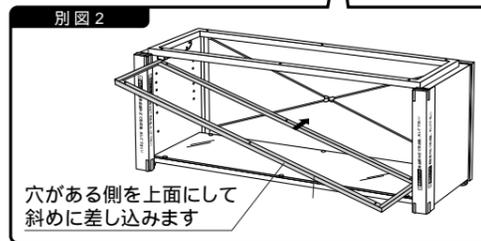
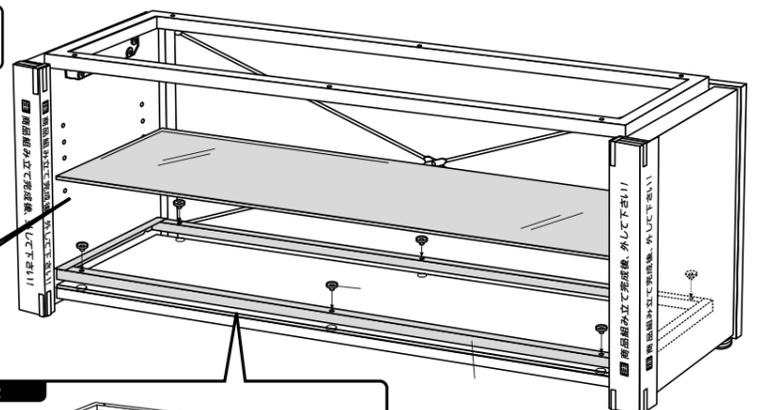
- 3** **注** ガラスは重くて危険です。必ず2人以上で行って下さい。

- 受けゴム を図のように差し込みます。
- ガラス棚板 を斜めにして中に差し込み、下棚フレーム の上に置きます。(別図1参照)



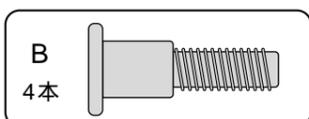
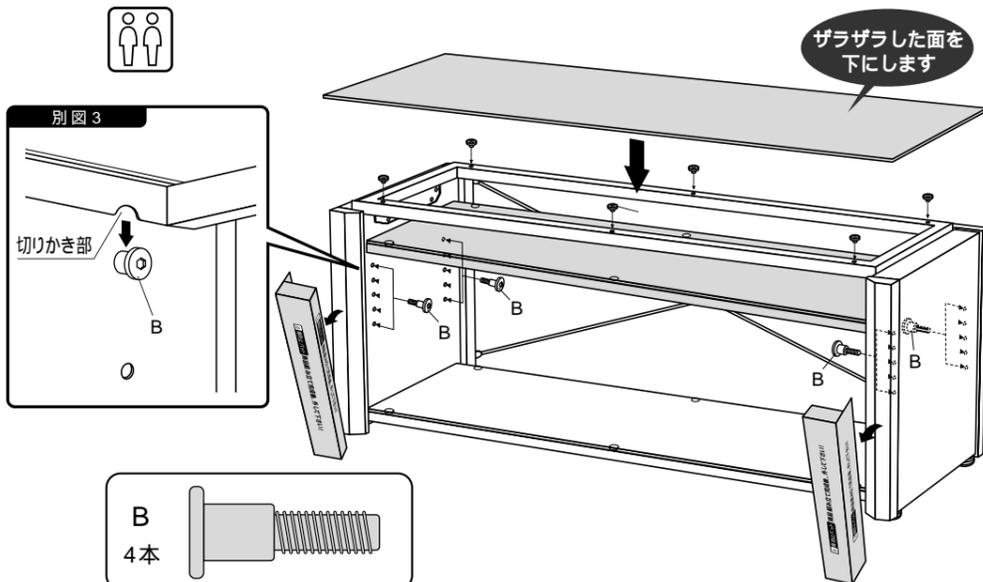
- 4** **注** ガラスは重くて危険です。必ず2人以上で行って下さい。

- 可変棚フレーム を斜めにして中に差し込み、下段棚ガラスの上に置きます。(別図2参照)
- 受けゴム を図のように差し込みます。
- 行程③と同じようにガラス棚板 を斜めにして中に差し込み、可変棚フレーム の上に置きます。(別図1参照)



- 5** **注** ガラスは重くて危険です。必ず2人以上で行って下さい。

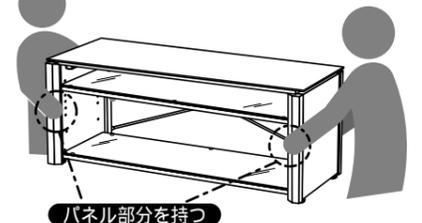
- 棚ガラス板 を載せた可変棚フレーム を必ず2人で図のように持ち上げ、棚ボルト B を5段中の同じ高さに取り付けます。
- 可変棚フレーム の切りかき部を棚ボルト B にはめ込みます。
- 受けゴム を図のように差し込み、中ガラス天版 を中央に置きます。
- 最後に傷防止パッドを外して完成です。



使用上の注意

※可変棚を変化させる場合は、設定された機器などを取り除いてから、行程⑤を参考に必ず2人で行って下さい。

※移動の際は必ず2人で、左右のパネルを持って移動させて下さい。



※完成時、ガタつきや棚板が水平にならない時は、パネルの先端に取り付けた4つのアジャスターで調節して下さい。

